

事業概要：アフターコロナを見据えたインバウンド誘客支援事業

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	520,896千円 (114,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 アフターコロナに向けたインバウンド市場の戦略的な開拓・プロモーション、きめ細やかな受入体制の整備等により、「来て、見て、感動する鹿児島」を体現し、外国人が快適に訪問しやすい観光地づくりを行う。これにより、訪れた観光客に「また来たい」と思わせることで、リピーターを増やし、海外から観光客が集まる魅力ある鹿児島の実現と、持続可能な活力ある県勢の発展を目指す。					アフターコロナを見据えた 観光回復を図る取組 (1) 海外観光プロモーションの強化 (2) 外国人観光客受入体制の整備 (3) ベトナム誘客特別プロモーション 観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・海外観光プロモーションの強化 (委託料) 88,075千円 ・外国人観光客受入体制の整備 (委託料) 11,625千円 ・ベトナム誘客プロモーション (委託料) 15,000千円						
主なKPI	①観光消費額 (+1,565億円) ①インバウンド関連講習会参加者数 (+443人) ②多言語ウェブサイトページ閲覧数 (+61万件) ③世界自然遺産を周遊する旅行商品の造成数 (+15商品) ④本県の外国人延べ宿泊者数 (県内のインバウンド観光客数) (+196.22万人泊)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：かごしまの将来を担う人材の確保・定着促進事業

継続

申請者	鹿児島県						初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	168,807千円 (23,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	本県の2030年における生産年齢人口については、2021年と比較して約8.8万人減少し約73万人となる見通しであり、特に若年層（進学・就職する15-19歳、20-24歳）が大きく転出している。また、生産年齢人口の減少等に伴う人手不足を補う形で外国人労働者が急増しており、県内企業等において、外国人労働者へのニーズの高まりは継続するものと想定される。 このことから、若年者の県内就職・定着の促進、移住・交流の促進、外国人材などの多様な人材の活躍促進に重点的に取り組み、人材確保対策を進めることで、本県経済の発展を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年者等の県内定着の促進に向けた支援として、受入側（県内企業）の人材確保・受入体制の構築を進めるとともに、外国人材の安定的な確保・定着に向けて、「かごしま外国人材受入活躍推進会議」において、外国人材の安定的な受入体制の整備等に向けた協議を行うとともに、外国人が日本語や日本文化の学習、地域住民との交流を行う機会の創出等を行う。						1. 若年者等の県内定着の促進 受入側の人材確保・受入体制の構築 2. 外国人材の安定的な確保・定着 県内在住の若年層に対する県内定着及び外国人材の安定的な確保・定着等を促進することで、本県経済の発展を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若年者等の県内定着の促進（委託料等）10,347千円 ・企業ごとの取組状況や段階に応じたインターンシップ支援 ・多様な働き方を推進するための職場環境整備に関するWebセミナー開催等 ・特定地域づくり事業協同組合の設立に向けてのアドバイザー派遣 ○外国人材の安定的な確保・定着（委託料）13,490千円 ・災害時外国人支援ボランティア養成講座 ・やさしい日本語講師や多文化共生アドバイザー等の派遣（多文化共生社会促進） ・生活支援ガイドブック制作 ・外国人定着支援相談窓口							
主なKPI	①労働力人口比率（+1.40%） ②高校生の県内就職率（+1.25%） ③大学生の県内就職率（+1.25%） ④障害者就職面接会を通じた就職件数（+25件） ⑤県内のインドネシア人及びフィリピン人労働者の合計数（+4,017人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：県産業の「稼ぐ力」強化支援事業

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	504,755千円 (55,904千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「農林水産業の競争力強化」、「イノベーションの創出と競争力のある産業の振興」に向けて、本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ、将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに、販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで、県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上、県民所得の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「稼ぐ力」のある産業の創出に向けて、既存産業の高付加価値化に向けた支援や新たなビジネス創出への支援を行うとともに、企業の「稼ぐ力」強化に向けて、企業の販路ネットワークの強化に向けた支援や企業の経営基盤の強化に向けた支援に取り組む。					1. 「稼ぐ力」のある産業の創出 (1) 既存産業の高付加価値化に向けた支援 (2) 新たなビジネス創出への支援 2. 企業の「稼ぐ力」強化に向けた支援 (1) 企業の販路ネットワークの強化に向けた支援 (2) 企業の経営基盤の強化に向けた支援 本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ、将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに、販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで、県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上、県民所得の向上を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・既存産業の高付加価値化に向けた支援（委託料）3,165千円 ・新たなビジネス創出への支援（委託料，補助金等）26,974千円 ・企業の販路ネットワークの強化に向けた支援（委託料，補助金）25,765千円 ・企業の経営基盤の強化に向けた支援 0千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造業の従業者一人当たり付加価値額（+46.9万円） ②県産品の新規販路開拓件数（+451品） ③実施対前年比付加価値額が増加した企業の割合（+250%） ④鹿児島県内の木材生産量（+195千㎡） ⑤レストランフェア等における県産品の活用品数（+36品目）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,061千円 (11,836千円)
事業タイプ・類型	横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	グローバルな視点と同時に地域の特異性や地元のニーズを考慮した地域を形成することで、「県民一人ひとりが、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、個性と能力を発揮し、活躍できる社会」を実現させるとともに、共生共存を掲げ次世代を見据えた先駆的な地域社会を形成することで、国内外からの移住先として選ばれる鹿児島の形成を目指し、多様な人材の人口流入を促し、持続可能な社会をつくることを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・地域コミュニティづくりの促進（中間支援組織の育成） 中間支援組織が地域コミュニティやNPO等の団体の伴走支援を行うことで、団体の運営基盤強化、人材育成等が図られ、地域課題の解決、持続可能な共生・協働の地域社会づくりに寄与する。 ・買物弱者支援 【R8年度事業 経費内訳】 1 地域コミュニティづくりの促進 ①中間支援組織の育成（委託料） 2,152千円 2 買物弱者支援 ①買物弱者への支援に関する情報の発信（委託料）750千円 ②買物弱者支援策に係るセミナーの実施（委託料）3,434千円 ③市町村への助成（補助金）1,500千円 1 地域コミュニティづくりの促進 ①中間支援組織の育成 2 買物弱者支援 ①買物弱者への支援に関する情報の発信 ②先進技術等を活用した買物弱者支援策に係るセミナーの実施 ③市町村への助成 共生共存を掲げ次世代を見据えた先駆的な地域社会を形成することで国内外からの移住先として選ばれる鹿児島の形成を目指し、多様な人材の人口流入を促し、持続可能な社会をつくることを目指す。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における移住者数（市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数）（+9,600人） ②中間支援活動を行う団体数（+3団体） ③市町村による買物弱者対策の実施状況について、「実施している」と回答する市町村のうち、対策によりカバーできている地域の割合について「大部分はカバーできている（60～90%程度）」、「ほぼ全てカバーできている（90%以上）」と回答する市町村の割合（54%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方案への反映が記載されているURL http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：人と技術でつなぐかごしま伝統産業活性化プロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	149,739千円 （18,305千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	伝統的工芸品について、現代のニーズにマッチした商品開発・販路拡大を図る取組を支援することで、需要の開拓や収益性の向上を図るとともに、後継者の育成・確保を支援する。本格焼酎は、特に伸びしろが大きい海外市場へ輸出促進を図る必要があり、海外での認知度向上・販路拡大を図り、県産本格焼酎を世界の蒸溜酒として育成する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・大島紬の魅力を発信しながら、ユーザー向けの需要開拓と流通に向けて収益性の向上を図る契機を作る。 ・本格焼酎の高付加価値化を図り、事業者の収益向上を図ることで、焼酎産業の持続可能な発展を促進する。等		
	【R8年度事業 経費内訳】 1 伝統産業活性化 （1）大島紬産地モニターツアー事業(委託料4,922千円) 等 （2）伝統的工芸品インバウンド等対応支援事業 6,217千円（委託料，補助金） （3）後継者育成プロジェクト7,166千円(委託料) 2 焼酎市場開拓 0千円（※自主財源等で実施） 1 伝統産業活性化 （1）大島紬産地モニターツアー事業 （2）伝統的工芸品インバウンド等対応支援事業（コンソーシアム） （3）かごしまの伝統的工芸品後継者育成プロジェクト 2 焼酎市場開拓 （1）国内市場開拓 （2）海外市場開拓 （3）高付加価値化支援 伝統的工芸品について、現代のニーズにマッチした商品開発・販路拡大を図る取組を支援することで、需要の開拓や収益性の向上を図るとともに、後継者の育成・確保を支援する。本格焼酎は、特に伸びしろが大きい海外市場へ輸出促進を図る必要があり、海外での認知度向上・販路拡大を図り、県産本格焼酎を世界の蒸溜酒として育成する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 （伝統的工芸品産業への就労者数）（+6人） ②展示販売会での問屋への下代（卸値）（+5.01%） ③課税移出数量（国内出荷量） 対前酒造年度比102%以上（+6%） ④県産品の海外へ新規販路開拓した商品数（+228商品）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	82,256千円 (22,992千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・各地域の特性を活かしたコンテンツをPRすること等により，国際クルーズ船の経済効果を県内各地域に波及させ，「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・鹿児島港に寄港するクルーズ船客がツアーに求める内容，ツアーで許容する移動時間，消費額，鹿児島再訪希望などの項目についてアンケート調査を行い，寄港地ツアーのニーズを把握する。アンケート結果により，経済波及効果の推計及び旅客ニーズ等の動向分析を行う。 ・県内の漁港，加工業者及び海外クルーズ船販売登録者等と連携し，県産農林水産物の国際クルーズ船への供給体制の構築・販売促進を行う。等						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 クルーズ船への県産品供給実証事業 ・供給課題の調査，供給の実証試験等（委託料）17,092千円 ・クルーズ船向けプロモーション（委託料）5,900千円						
主なKPI	①観光消費額（年間）（+1,083億円） ②延べ宿泊者数（年間）（+108万人泊） ③国際クルーズ船に供給された県産品の売上（1.3億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：半導体関連産業拡大プロジェクト事業

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,314千円 (0千円) ※一般財源等で実施
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	半導体の魅力や半導体関連企業の認知度向上の取組を行い人材確保・育成を図るとともに、県内半導体関連企業のサプライチェーンへの新規参入、取引拡大や、台湾企業等との産業交流を行うことで、新たな半導体関連企業の立地を促進し、地場の半導体関連企業の投資を活性化させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学官が連携し、学生や保護者等を対象とした半導体の魅力や半導体関連企業の認知度向上を図るイベント等を実施する。また、県、産業支援センター、企業が一体となり、大規模な半導体関連展示会への共同出展を実施するほか、台湾での大規模展示会への参加や台湾半導体関連企業の視察、台湾企業等へのトップセールスを行う。					半導体関連企業人材確保・取引拡大等支援事業 ・人材確保・育成支援 ・取引拡大支援 ・産業交流促進 → ・域外からの投資を積極的に呼び込み、企業の稼ぐ力を一層向上させるために、新たな半導体関連企業の立地を促進するとともに、地場の半導体関連企業の投資を活性化させることを目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○半導体関連企業人材確保・取引拡大等支援事業 ・人材確保・育成支援 産学官が連携し、学生や保護者等を対象としたイベント開催 ・取引拡大支援 九州の半導体関連企業等が一堂に会する「九州半導体産業展」などへの共同出展 ・産業交流促進 台湾の大規模展示会や台湾半導体関連企業の視察等を実施						
主なKPI	①県内半導体関連企業の1人当たり付加価値増加額の増加率（+9%） ②人材確保・育成支援セミナー等のイベントの開催数（+3回） ③半導体関連の展示会出展数（+24社） ④台湾半導体産業界と関係構築が図られた企業数（+5社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：企業の経営体制強化プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,940千円 (18,144千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	イノベーション創出の拠点機能強化を行い、起業に向けた機運の醸成を図るとともに、中小企業の経営基盤の強化に向け、価格転嫁の円滑化に向けた支援や、賃上げのための環境整備、事業承継を推進することにより、本県産業の長期的な発展を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 起業に向けた機運の醸成を図るとともに、起業しやすい環境を整備するため、イノベーション創出の拠点機能強化を行う。企業やスタートアップ等の交流を促進する県庁のワーキングスペースの運営や、価格転嫁に関する基礎的知識やノウハウを提供するセミナー等を開催するほか、第三者承継の促進などを通じて事業承継を支援する。						○企業の経営体制強化に関する事業 本県産業が長期的に持続して発展していくため、スタートアップへの支援とともに、価格転嫁の円滑化や事業承継の加速化、賃上げのための業務改善の取組について支援を行う。 起業に向けた機運の醸成を図るとともに、中小企業の経営基盤の強化に向け、価格転嫁の円滑化に向けた支援を行うとともに、賃上げや事業承継を推進するなど、本県産業が長期的に持続して発展するため、企業の「稼ぐ力」の向上を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 企業の経営体制強化に関する事業 ・ワーキングスペースの運営（委託料）14,384千円 ・かごしまの暮らしや魅力等のショート動画の情報発信（委託料）3,760千円 等							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①企業の異業種交流・スタートアップ促進 （かごゆいテラスを活用したマッチング件数）（+150件） ②市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ③県事業承継・引継ぎ支援センターにおける第三者承継成約件数（+75件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：プレミアムブランド構築による鹿児島の農林水産物販売促進プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	207,412千円 (44,699千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	本県の基幹産業である農林水産業の「稼ぐ力」の向上による県民所得の向上を図るため、本県の農林水産物の高付加価値化と販路拡大に取り組む。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 和牛日本一の鹿児島県産和牛，国内有数の水揚げ量を誇るブランド魚（ブリ・カンパチなど），森林資源としてのかごしま材の普及拡大などの県産品をプレミアムブランド化し，効果的なPRによる消費拡大を目指す。 高付加価値化と販路拡大に取り組み，我が国の食料供給基地として，鹿児島県の農林水産業が各市場からの期待と信頼に応えていくために，農林水産業の「稼ぐ力」の向上による，県民所得の向上を目指す。					1 ブランド製品の普及拡大 (1) 鹿児島県産和牛のPR活動 (2) 鯉節輸出体制構築支援 等 2 ブランド力強化・高付加価値化 (1) 森林認証材供給力強化 等 3 輸出強化 (1) かごしま茶の新たな販路開拓支援 等 高付加価値化と販路拡大に取り組み，我が国の食料供給基地として，鹿児島県の農林水産業が各市場からの期待と信頼に応えていくために，農林水産業の「稼ぐ力」の向上による，県民所得の向上を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ブランド製品の普及拡大（畜産） ・鹿児島県産和牛のPR活動の強化（委託料等）13,758千円 ・「かごしま黒豚」ブランド力向上対策事業（委託料）10,636千円 ○ブランド製品の普及拡大（水産） ・鯉節輸出体制構築支援（委託料）7,432千円 等 ○ブランド力強化・高付加価値化 ・森林認証材供給力強化（委託料）1,716千円 等 ○輸出強化 ・かごしま茶の新たな販路開拓支援（委託料）10,220千円							
主なKPI	①木材生産額（+24億円） ②和牛日本一鹿児島応援店登録件数（+394店舗） ③イベントにおいて県水産加工品のPRを実施した商品数（+60商品） ④県水産物輸出金額のうち鯉節（+7.2億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html	

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：人材に選ばれるかごしまプロジェクト

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,257千円 (25,841千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若者など人材の流出を抑え、外国人など多様な人材の活用を図るほか、地方移住への関心の高まりやリモートワークの進展により、場所と時間にとらわれない柔軟な働き方が可能となったことなどを踏まえ、大都市圏等から本県への人の流れをつくり、地域を支える人材を確保していくことで、持続可能な鹿児島県への構造転換を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・関係人口の可視化や鹿児島ゆかりの人々との連携、人手不足の地域と地域に関わりたい人をつなぐ場を提供する。 ・外国人材がスムーズにキャリアアップしていくための学習支援として、日本語学習支援e-ラーニングシステムを、県内企業で働く外国人材に対し提供する。 等					1 移住者及び関係人口増加の取組 ・関係人口プラットフォーム構築 等 2 若者の人材定着の取組 ・若者の力を活かした地域コミュニティづくり支援 等 3 外国人材から選ばれる取組について ・外国人材向け日本語学習支援 等 ・若者など人材の流出を抑え、外国人など多様な人材の活用を図るほか、大都市圏等から本県への人の流れをつくり、地域を支える人材を確保していくことで、持続可能な鹿児島県への構造転換を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○移住者及び関係人口増加の取組 ・関係人口プラットフォーム構築（委託料）6,842千円 等 ○若者の人材定着の取組 ・若者の力を活かした地域コミュニティづくり支援（委託料）2,000千円 等 ○外国人材から選ばれる取組について ・外国人材向け日本語学習支援（委託料）6,215千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ②関係人口プラットフォームに登録した人数（+3,000人） ③森林づくり活動への支援のために訪問した企業数（+30社） ④外国人材受入見込み数（+3,492人） ⑤スポーツキャンプ・合宿実施者延べ人数（+15,060人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougo usenryaku.html

事業概要：データに基づく稼げる観光地域づくりプロジェクト

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	233,680千円 (66,358千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光地域づくりの主体である「観光地域づくり法人（DMO）」による稼ぐ観光地域づくりの実現を目指すとともに、本県の、食、温泉、自然・観光はもちろん、歴史・文化、離島、世界遺産、宇宙等に至るまで多種多様で多彩な観光コンテンツを生かした新たな観光PRに取り組み、「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光客のニーズ、動向を継続的に把握し、効果的なプロモーションの改善につなげるため、観光客のニーズや動向を把握するため、デジタルアンケート調査を行う。 ・各エリアのDMOがデータを活用して「稼げる」観光地域づくりに関する組織づくりや人材育成、マーケティングや地域の持続可能性を高める観光コンテンツの造成等ができる推進体制を確立できるよう支援する。 等					1 新たなデータ収集によるニーズの把握等 ・新たなニーズの把握） 等 2 最近の旅行ニーズへの対応 ・各地域における観光地域づくり（DMO）の支援 等 観光地域づくりの主体である「観光地域づくり法人（DMO）」による稼ぐ観光地域づくりの実現を目指すとともに、本県の多彩な観光コンテンツを生かした新たな観光PRに取り組み、「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新たなデータ収集によるニーズの把握等 ・観光客のニーズ・動向を踏まえた効果的なプロモーションを展開するため、デジタルアンケート調査を行う（委託料）12,700千円 等 ○最近の旅行ニーズへの対応 ・各地域における観光地域づくり（DMO）の支援（委託料）15,094千円 ・「南の宝箱 鹿児島」観光デジタルプロモーション事業（委託料）26,510千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（年間）（+1,083億円） ②延べ宿泊者数（年間）（+108万人泊） ③本事業を活用して、データを活用した商品造成をしたDMO数（+5団体） ④本県における教育旅行の受入校数（+5校）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：人材確保・育成及び移住促進による地域経済活性化プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	122,456千円 (40,302千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域における「県政の総合拠点」として県内7箇所に設置した地域振興局及び支庁が、各地域の特徴や課題等を踏まえた地域企業の魅力発信や移住促進、外国人の定着促進、障害者の雇用促進等の取組を行うことで、県内の各産業を支える人材の確保・育成を図り、持続的な地域経済の発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年層の県内就職促進を図る高校や企業と連携した合同企業説明会を開催する。また、移住促進や関係人口の拡大に向け、都市部での移住イベントの相談対応、労働力を必要とする農業者と都市住民とのマッチング、交流イベント等を実施するほか、ロボットコンテストの開催、医療・福祉人材の交流事業など、地域ごとの課題に応じた人材確保・育成の取組を展開する。					地域振興推進事業 地域における「県政の総合拠点」として県内7箇所に設置した地域振興局及び支庁が、地域の振興を図るため、地域固有の課題解決や地域活性化策に迅速かつ柔軟に取り組む。 地域振興局・支庁 鹿児島地域振興局 大隅地域振興局 南薩地域振興局 熊毛支庁 北薩地域振興局 大島支庁 姶良・伊佐地域振興局 管内市町村 <主な事業内容例> 観光の振興・交流の促進 産業の振興 集落機能の高度化 移住・定住の促進	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若年層への地域企業の魅力発信 ・効果的な採用広報等に関するセミナーの開催（委託料）6,710千円 ・地元企業のPR紙の作成（補助金）2,500千円 ○人材の確保に資する移住促進及び関係人口の拡大 ・移住イベントにおける相談対応、マッチングイベント等（委託料等）21,166千円 ○各地域の課題に対応した人材確保・育成の取組 ・ロボットコンテスト運営経費（負担金）1,164千円 ・種子島の魅力体験 医療・福祉人材キャンプ交流事業（委託料等）2,079千円 等						
主なKPI	①市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ②高校生の県内就職率（+3%） ③外国人材の受入見込み数（+3,492人） ④新規林業就業者数（+30人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

樋脇川のイメージ
(水辺空間と地域の歴史・文化が核となり賑わいを創出)

事業概要：川内港コンテナ船大型化対応プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,211,000千円 (720,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	コンテナ船の大型化が確実視されている川内港において、引き続き「選ばれる川内港」となるよう、大型コンテナ船の寄港に不可欠なガントリークレーンを整備し、港湾機能を強化する。 コンテナ船の寄港が継続されることにより地域経済の活性化が図られる。 港湾機能の強化によりコンテナ取扱量増加など川内港の利用促進が図られる。 ガントリークレーンにより荷役作業を行うことで、荷役作業の安全性・効率性が向上し、労働生産性の向上が図られる。 ガントリークレーンの供用開始に合わせてPR用リーフレットを作成し、ポートセミナーや関連企業との打ち合わせなど、あらゆる機会を通じてガントリークレーンの供用開始及び港湾機能の強化について情報発信することで、更なる利用促進が図られる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 寄港している国際コンテナ船の大型化に伴い、一度の寄港で積み卸しを行うコンテナの取り扱い量が増加することが想定されているため、室蘭港のガントリークレーンを川内港に移設・設置する。 また、ガントリークレーンの供用開始に合わせてPR用リーフレットを作成・情報発信を行い利用促進を図る。					室蘭港ガントリークレーン 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ガントリークレーン情報発信（R9年度） ○拠点整備事業 室蘭港のガントリークレーンを川内港に移設 ・譲渡費：480,000千円 ・移設工事費：240,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①コンテナ貨物取扱量(+3,000TEU) ②労働生産性の向上（1時間当たりの取扱コンテナ量の増加）(+21TEU/時間) ③コンテナ利用輸出入新規企業数(+14企業)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：県産材の安定供給と販路拡大による林業成長産業化プロジェクト

新規

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,869,360千円 (363,120千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 林道と町道を一体的に整備することにより、新たな森林施業の区域の確保と高性能林業機械等の投入による低コスト化、効率的な木材搬出ルートの形成を促進するとともに、観光地へのアクセス強化や災害時のライフライン確保を図る。併せて、林業を支える担い手確保・育成に向けて取り組む。 ・ また、輸出拡大に向けて今後輸出拡大が期待される米国におけるニーズや課題等を整理するとともに、国内需要の開拓に向けて、県内における木材需要の向上・地産地消に向けて取り組むことで、生産性向上や規模拡大により、本県の「稼ぐ力の向上」にさらに寄与することが期待される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 林道と町道を一体的に整備することにより、新たな森林施業の区域の確保と高性能林業機械等の投入による低コスト化、効率的な木材搬出ルートの形成を促進するとともに、観光地へのアクセス強化や災害時のライフライン確保を図る。 併せて、林業振興に必要不可欠な、担い手確保及び県産材の販路・輸出拡大等の施策を一体となって展開することにより、林業の成長産業化を実現する。					路網整備 人材確保 需要拡大 輸出促進 効率的な木材搬出ルートの形成等 林業を支える担い手の確保・育成 非住宅建築物の木造化推進による県内での木材需要の拡大 付加価値の高い製材品等の輸出	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・林道の整備（工事費等）300,000千円 ・町道の整備（工事費等）60,000千円 ○ソフト事業 ・かごしま材の輸出拡大に向けた調査（※別財源で実施） ・外国人労働者の受入れに関する研修会の開催等（委託料）1,500千円 ・木造建築設計に関する研修・情報交換会の開催等（委託料）1,620千円						
主なKPI	①鹿児島県の木材輸出額の増（+15.6億円） ②さつま町の木材素材生産量の増（+4.8千m3） ③さつま町の原木市場取扱量の増（+6.0千m3） ④非住宅建築物（棟数）の木造化率の増（+5.0%） ⑤林業就業者数の増（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：かごしまの強みを生かした観光振興推進プロジェクト

新規

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	282,994千円 (91,458千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・国・地域特性や旅行ニーズの変化を踏まえたインバウンド誘客や歴史・文化を核とした着地型観光を推進するとともに、鹿児島が有する自然・食・歴史・文化等の地域資源の磨き上げにより高付加価値な観光コンテンツを造成し、観光消費の拡大と地域経済の活性化を図る。 ・さらに、様々な観光振興の取組を通じて、自らの地域の自然環境や景観、歴史・文化などを見つめ直し、地域の魅力を再認識しながら、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを進めることにより、持続可能で発展的な地域社会づくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 宿泊者数は回復傾向にあるものの、観光消費額の伸び悩みやインバウンド需要の回復不足といった課題があることから、国・地域特性や旅行ニーズの変化を踏まえたインバウンド誘客を強化するとともに、地域素材を生かした体験型観光コンテンツの造成・高付加価値化を推進する。 あわせて、鹿児島城跡や日本遺産、神楽等の歴史・文化資源を核とした着地型観光を推進し、回遊性向上と地域ブランド力の強化を図る。これらの取組を、専門家やDMO等と連携して面的に実施し、事業期間中にノウハウとネットワークを蓄積することで、事業終了後も民間主体で継続可能な自走型の観光振興体制の構築を目指す。					課題 ・観光消費額の伸び悩み ・インバウンド回復と体験型コンテンツの不足 事業内容 ・国・地域別インバウンド誘客 ・地域素材を生かした体験型観光の高付加価値化 ・歴史・文化資源を核とした着地型観光の推進 目指すべき将来像 ・自然、食、歴史・文化等の地域資源の磨き上げや高付加価値な観光を通じた持続可能な地方創生の実現	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・国・地域毎の特徴を踏まえたインバウンド誘客（委託料）47,520千円 ・地域素材等を生かした観光コンテンツの高付加価値化（委託料，補助金）22,116千円 ・歴史・文化を生かした「観光立県」の推進（委託料，補助金）21,822千円						
主なKPI	①観光消費額（+1,003億円） ②外国人延べ宿泊者数（+55.8万人泊） ③日本人延べ宿泊者数（+38.4万人泊）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要：かごしま元気企業転換プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,344千円 (16,949千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域産業の競争力強化や創出支援、人材の確保・育成により、地域産業の稼ぐ力の強化を図る。 若者の地元定着の推進に向け、職場環境の整備等に取り組むとともに、新産業創出・新規事業展開の促進や市外への販路拡大などを通じて、安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多彩な“人材”が活躍し、持続可能な経済活動が展開されるためにも、若者の地元定着の推進に向け、職場環境の整備等に取り組むとともに、新産業創出・新規事業展開の促進や市外への販路拡大、女性の人材流出防止など、安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指す。					オープンイノベーション創出支援事業 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○オープンイノベーション創出支援事業 ・自社の「課題・強み」言語化ワークショップの開催、 ビジネスコラボレーション創出交流イベントの開催等 (委託料) 5,674千円 ○カゴシマシティコレクション販路拡大事業 ・本市公式ECサイトの構築・運営等 (委託料) 11,275千円 ○かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業 ・アンコンシャス・バイアスについてのアンケート調査結果の周知広報 0千円					カゴシマシティコレクション販路拡大事業   かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①公式ECサイトによる地域における経済波及効果 (65,684千円) ②事業共創提案事業者数 (+36事業者) ③ECサイトの販売額 (+4,500万円) ④啓発特設サイトのアクセス数 (+6,150件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/sousei/20201104koukakenshoukekka.html

事業概要：鹿児島アリーナリニューアル検討整備事業

継続

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,973,398千円 (238,768千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、鹿児島市が第六次総合計画で掲げる都市像「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」の実現に向けて、鹿児島アリーナを、単なる施設改修にとどまらず、スポーツ・文化・観光の融合拠点として再構築するものである。 特に、プロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」のB1昇格に対応したホームアリーナとしての機能強化を図ることで、地域の誇りや一体感を醸成し、若年層の定住促進や交流人口の拡大を目指す。また、エンターテインメント設備の拡充により、イベント主催者の利便性を高め、大会誘致やイベント開催の定着化を図ることで、地域経済への波及効果を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・アリーナのリニューアル 新B1基準（観客席5,000席以上、VIP席、メディア対応設備等）を満たし、B.LEAGUE公式戦の開催が可能な仕様とする。さらに、国際大会、音楽コンサート、地域文化イベントなど多様な用途に対応できるように、可動式観覧席、音響・照明設備、映像演出機能を整備。 ・観戦・応援環境の向上 ユニバーサルデザインの導入、移動観覧席の設置、視認性・音響性の向上など、誰もが快適に楽しめる空間を創出。高齢者や障がい者も含めた多様な来場者の利便性を確保。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・リニューアル施設改修基本実施設計委託業務 101,059千円 ・観覧席解体撤去業務 137,709千円 ・エンターテインメント設備製造設置業務 873,273千円（対象外経費）						
主なKPI	①観光消費額（+410億円） ②鹿児島市宿泊観光客数（+22万人） ③年間アリーナ来場者数（イベント・大会・コンサート等含む）（+5万人） ④鹿児島レブナイズの平均観客数（1,505人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikaku/kuzaisei/kikaku/sousei/20201104koukakenhoukekkka.html

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,500千円 (25,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- まちの魅力や価値の発掘・創造・磨き上げを行い、国内外に発信することで、都市イメージを高めるとともに、まちを思い積極的に係わりようとする“鹿児島ファン”を増やし、そのポジティブな想いを観光誘客や特産品購入など、地域内消費につなげていくことで、将来にわたり持続可能な発展を遂げるまちの創造を目指す。 - 多種多様な消費活動による直接効果や間接効果（消費活動に伴う農業・水産業・製造業などへの波及効果）により、所得増や雇用増が生まれるほか、特産品の購入により、市内企業の販路拡大・生産性向上が図られるなど、人口減少下における地域経済の維持及び拡大につながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 - 全国の10～30代をターゲットに、首都圏で、本市独自の素材の掛け合わせで新たな価値と面白さを演出する話題性のあるブランディングキャンペーンを実施する。 - 首都圏で実施するブランディングキャンペーンと連動して、地元事業者による自走を前提とした共同企画を実施する。 - 市内外の“鹿児島ファン”から、おすすめの「モノ・コト・バショ」を募集し、市民等の投票によって選ばれた地域コンテンツを、SNS等を活用して市民と共に広く発信する。					 「モノ・コト・バショ」の募集・投票・選定・情報発信	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 - 首都圏で実施するブランディングキャンペーン（委託料）：8,000千円 - 上記と連動した地元事業者との共同企画（委託料）：4,000千円 - メディアプロモーション、SNS運用・SNS等広告（委託料）：6,600千円 「モノ・コト・バショ」の募集・投票・選定・情報発信（委託料）：6,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口の増加数（+12,300人） ②本市シティプロモーションに寄与する事業者としての認定者数（+15者） ③SNSエンゲージメント数（+33,100件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/sousei/20201104koukakenshoukeka.html

事業概要：甲突川河畔にぎわい創生プロジェクト

新規

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R13年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,528,997千円 (6,403千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 中心市街地におけるにぎわい空間の創出を図る上で、重要な場所である「甲突川河畔」を、新たな観光拠点（桜の名所）として再整備を行う。 - 再整備と合わせ、甲突川河畔を軸とした周辺の賑わい拠点との回遊性に向けた多様な観光プロモーションを展開し、全国からの来訪者の増加を図るとともに、各にぎわい拠点を有機的に結び付け、面的な賑わい空間を形成することで、中心市街地、ひいては市全体への交流人口・関係人口の拡大へと繋げるとともに、地域経済への波及効果を創出し、地方創生を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 周辺の賑わい拠点への回遊性向上に向けて、地域の多様な主体と連携を図り、社会実験（イベント開催等）を行い、甲突川河畔の認知度向上に加え、回遊性向上に対する地域の意識醸成や民間事業者の関心喚起、さらには熱意ある新たな連携事業者の発掘に努める。加えて、来訪者数や年齢層の調査、出店者や来場者の満足度調査等を実施し、社会実験の効果分析を行い、次年度の社会実験へ繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・周辺の賑わい拠点への回遊性向上に向けた社会実験（委託料）6,103千円 ・広報・PR（印刷製本費）300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①鹿児島市の観光消費額（+160億円） ②中心市街地における宿泊観光客数（+136千人） ③市民意識調査における甲突川河畔の満足度調査において、「非常に満足している」と回答した人の割合（+4.88%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikaku/aisei/kikaku/sousei/20201104koukakenhoukekka.html

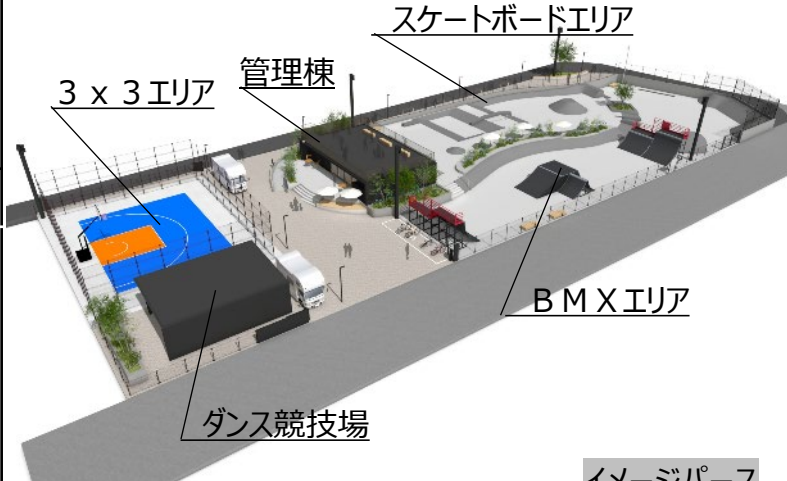
事業概要：「鹿児島ならではの」のオンリーワンの魅力創出事業

新規

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	295,938千円 (244,938千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	Ⅰ 多様化するニーズへの対応及び西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクトを見据えた展示物等のリニューアルを行い、施設の魅力向上を図る。 Ⅱ 幕末・明治維新期の鹿児島の歴史・文化を様々な視点から振り返り、西郷隆盛の生涯のストーリーを通して、鹿児島の多彩な魅力（食や文化、産業、自然など）を活用したイベントの実施などの様々な取組を実施することにより、活力あるまちづくりを推進し、交流人口の拡大と地域経済への波及効果を創出する。 Ⅲ 空港の国際線旅客便の運航状況の回復が著しく、インバウンドの伸び率も高い熊本市との連携を軸に、南部九州の観光都市である人吉市や指宿市、鹿児島・熊本との連携により、本市を含む南部九州へのインバウンド増及び観光消費額増による地域経済活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 Ⅰ リニューアル実施 ・既存展示の好評部分はそのままに、必要部分を適切にアップデートすることで薩摩の「人のチカラ」をより明確に発信する。 Ⅱ ①官民連携による新たな観光資源の開発 ・本市ならではの観光コンテンツや地域の魅力を生かした商品開発、農林水産物や伝統工芸品等の高付加価値化 ・地域の歴史・文化の魅力を生かしたサービス開発（体験コンテンツ等の造成） ②開発による新たな観光資源を生かしたプロモーション Ⅲ ①熊本市・人吉市・指宿市及び本市を中心とした、南部九州へのインバウンド誘客に向けた新たな連携体制の構築 ②各市のそれぞれの個性ある魅力を掛け合わせ、南部九州の魅力として相乗効果の発揮につながるモデルルートの造成やコンテンツの開発・磨き上げ等の実施 ③効果検証可能なプロモーション等の展開					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 Ⅰ 工事費 208,500千円 ○ソフト事業 Ⅱ 委託料 19,650千円（イベント・シンポジウム等の開催 9,500千円、プロモーション費用 10,150千円）、負担金 12,788千円（グルメイベントの開催 6,000千円、関連マップ制作 2,000千円、プロモーション 4,788千円） Ⅲ 委託料 4,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+159.27億円） ②鹿児島市宿泊観光客数（+741千人） ③1人1泊あたり観光消費額（+9,380円） ④年間施設入館者数（+62,800人） ⑤新たなコンテンツ（商品・プログラム等）の造成・磨き上げ数（+80件） ⑥モデルルート造成数（+4本）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/sousei/20201104koukakenshoukekka.html

事業概要：スケートボード等専用施設整備事業

新規

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	697,534千円 (278,784千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・東京オリンピックでスケートボード等のアーバンスポーツが正式種目として採用され、競技者の更なる裾野の拡大が見込まれる一方、本市においてはアーバンスポーツ（スケートボード、BMX、3×3、プレイキン）を気軽に楽しむ公共の施設がないため、その拠点となる施設を整備するもの。 ・アーバンスポーツの普及、振興が図られるほか、競技大会やイベントの開催を行うことで多くの愛好者の来訪を促すなど、他の施設と差別化が図れることも視野に入れた施設を目指すことで、交流人口の拡大や経済効果を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スケートボードやBMXなどアーバンスポーツを気軽に楽しむ環境を整備し、普及を図るためスケートボード等専用施設を整備する。初心者向けのセクションやイベント、教室などにも対応できる設備等を有するものとし、年間を通じて人々が集う施設とすることで交流人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 初心者教室や地域との交流イベントを開催し、市民のスポーツ振興を図る。また、大会の誘致やイベントなどにより県内外からの交流人口を拡大し、地域の賑わいの創出を図る。 ・オープニングイベント（公式戦同時開催） 6,000千円（R9） ○拠点整備事業経費 鴨池公園内にスケートボード等専用施設を整備 ・施設整備 691,534千円（造成、土木、建築、設備工事、施工監理）						
主なKPI	①施設整備による観光消費額（+5.11億円） ②鹿児島市宿泊観光客数（400万人の維持） ③年間施設利用者数（+109,560人） ④イベント・教室、大会の開催数（+326回）					URL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikaku/aisei/kikaku/sousei/20201104koukakenhoukekka.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：地域商社構築事業

新規

申請者	鹿児島県鹿屋市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,832千円 (18,904千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・ 地元農林水産物や加工品の安定した販売を通じて地域経済の自立性を高め、生産者が安定した収入を得られる持続可能な発展を実現することで農業産出額の増加を目指す。 ・ インバウンド需要やアジア向け輸出に注力した国際市場の開拓を進めることで、地域ブランドの付加価値向上を確立する。 ・ 多様化する市場ニーズに柔軟に対応することで、「持続可能な地域経済」を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市において、鹿屋産品の紹介や営業活動を実施してきたが、商談現場からは、多様な地域商材を一括して集約し、供給できる組織・団体が求められていることが判明したため、本市地方卸売市場に地域商社機能を新たに持たせ、インバウンドの増加や沖縄国際物流ハブを活用したアジア向け輸出の取組を強化している沖縄県を戦略的拠点とした販路拡大を推進する。地域経済の循環を創出し、生産者の所得向上と地域資源の有効活用を軸とした、持続可能な地域経済の実現を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地方卸売市場を活用した市産品販路開拓モデル実証事業（委託料） 18,904千円 1．販路拡大に向けた取組 2．サプライチェーン及び物流網体系構築の取組 3．市場調査及びデータ分析の取組							
主なKPI	①農業産出額（耕種＋畜産＋加工農産物）（＋6億円） ②沖縄県への出荷額（＋1億円） ③沖縄県への出荷量（＋504t） ④ネットワークへの参画事業者（＋18社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kanoya.lg.jp/suishin/sogosenryaku/yushikisyaiinkai/r7yuushikisyakaigi.html	

事業概要：産業と一体となった魅力あるウォーターフロントのまちづくり形成プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県枕崎市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,027千円 (19,545千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	県内唯一の「特定第三種漁港」である枕崎漁港を核とし、枕崎お魚センターを中心とした交流人口・関係人口創出力の底上げや本市産業の発展につながる「稼ぐ産業観光エリア」を確立させることで、カツオやかつお節などを中心とした、独自の食文化を強みとする「観光振興」と本市基幹産業である水産業、水産加工業の生産安定や販売力・ブランド力向上等の「海業振興」を両翼として“官民連携”で強化し、「人と物が交流し、活力みなぎる都市型ウォーターフロント形成によるまちづくり」のさらなる推進により、枕崎ブランドアイデンティティの「リブランディング」を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光拠点である枕崎お魚センターを中心に「枕崎ウォーターフロントのまちづくりプロジェクト推進会議」を構成し、「観光振興」と漁業、水産加工業を含む「海業振興」を一体的に推進する。また、かつお節の生産量日本一を誇る本市独自の食文化を「強み」とした戦略的プロモーションを展開しながら、魅力的な観光地づくり、枕崎ブランドの確立と価値向上を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ①【観光振興と海業振興の両翼推進事業】5,338千円(補助金) (1)地域資源等の調査及び分析・活用 (2)地域のマーケティング力の向上 (3)誘客推進等による観光地経営の深化 (4)地域資源の磨き上げと商品造成及び販売促進 ②【枕崎の食文化発信と稼ぐ力の推進事業】7,479千円(補助金) (1)戦略的なプロモーション (2)地域における魚食普及と関連商品の付加価値向上 (3)新たな食文化トライアル ③【『枕崎』リブランディング事業】1,728千円(補助金) (1)枕崎鰹節の価値向上と推進体制の強化 (2)枕崎ブランドアイデンティティの醸成 ④【港の小さな水族館推進事業】5,000千円(補助金) 海水滅菌装置整備		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+31,824千円） ②観光地点の観光入込客数（+17,984人） ③ホームページPV数（+23,652PV） ④イベント実施日の枕崎お魚センター来館者数（+12,000人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.makurazaki.lg.jp/soshiki/kikaku/211.html	



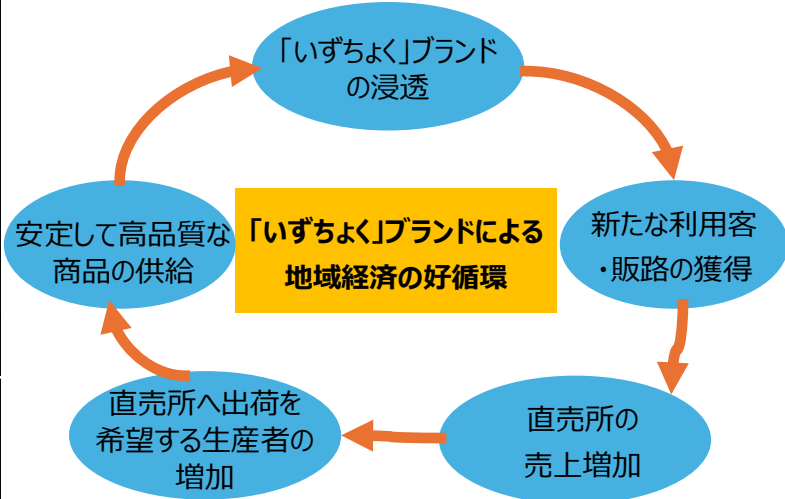
事業概要：（仮称）道の駅「出水」広域連携・防災道の駅整備事業

継続

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,524,906千円 (123,030千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	道の駅を新設し、周辺自治体と連携して広域的な観光情報を発信し、道の駅を起点とした観光周遊ルートの創出により、インバウンド観光客を含めた観光客の数や滞在時間の増加を図る。 地域の豊富な農林水産物の販売や、特産品・飲食メニューの開発により、販路を拡大し、生産者の所得を向上させ、働きがいを実感してもらい、農林水産業従事者の減少を抑制する。 大規模災害や家畜伝染病が発生した場合の、地域全体の広域的な「防災・防疫拠点」としての活用が期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「薩摩の国の玄関口（鹿児島県のゲートウェイ）」に設置されるサービスエリア的な利用に加え、地域住民も利用できる道の駅として、県内外からの西回り道の利用者に、おもてなしと癒しを提供する快適な空間と周辺景観と調和した魅力的な施設とするとともに、地域住民のコミュニティ拠点となる施設整備を行う。 また、運営事業者、市及び（一社）出水市観光特産品協会等が連携・協力し、本市及び周辺自治体で生産された地場産品を活かした加工品や特産品の開発及び地域の食材を活かした飲食施設におけるメニュー開発を行う。					 ※建物の形状や配置等は変更の可能性がありますが	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 【整備内容】 地域振興施設等の実施設計及び建築工事を行う。 ・実施設計 7,120千円 ・建築工事 64,856千円 ・外構工事 51,054千円						
主なKPI	①観光交流人口の増加（+45万人） ②道の駅の年間利用者数（+70万人） ③道の駅の物販・飲食施設における年間売上額（+9億円） ④道の駅の特産品・飲食メニュー開発数（+8個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公開予定 https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/page/page_013118.html

※建物の形状や配置等は変更の可能性があります

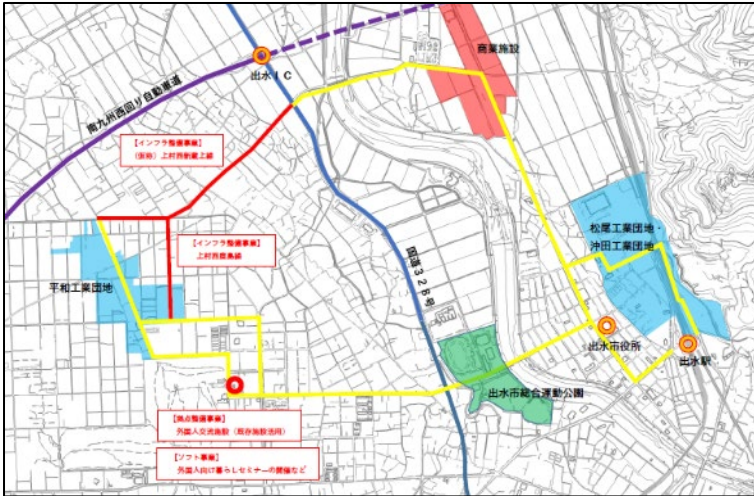
事業概要：地域ブランド「いずちよく」の構築による地域経済活性化好循環プロジェクト

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,000千円 (15,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・市内直売所のあつまりを「いずちよく」として、市内需要喚起に向けた取組を実施してきた中、安心・安全・高品質な出水産の商品を地域ブランド「いずちよく」として確立させ、市内での消費拡大、市外への販路開拓により、市内直売所、生産者、食品加工事業者等の稼ぐ力を向上させる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・市内直売所の集まりとしていた「いずちよく」を、出水産の安心・安全・高品質な商品の地域ブランドとして確立させることで、市内需要を拡大させるとともに、30～40歳代の若い世代の利用を取り込んでいく。また、市外に対しても、ブランディングを図っていくことで、外貨を稼ぎ、直売所や生産者の稼ぐ力の向上に繋げる。 ・外貨獲得に向けて、市外のホテル、レストラン等に対する販路開拓等を行う。 ・商品確保に向けて、市内の生産者に対して、直売所への出荷を促す取組や、就農・販売の機会を提供することで、新たな出荷者の拡大を図る取組を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】							
	○ソフト事業 ・「いずちよく」ブランディング事業（委託料）7,000千円 ・販路開拓に関する事業（委託料）4,000千円 ・商品確保に関する事業（委託料）4,000千円							
主なKPI	①出水市の農業産出額（+735千万円） ②特産館いずみの売上高（+27百万円） ③特産館いずみの来客数（+32,000人） ④市外への販路開拓数（+5件） ⑤直売所における新規の出荷者数（+5人）					URL	令和8年7月公開予定 https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/page/page_013118.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：市内事業所のDX推進による経済活動活性化プロジェクト

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,026千円 (8,908千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内事業者のDX化及びデジタル人材の育成を支援することで、市内産業の生産効率向上を図り、人手不足の解消を目指す。 子育てや介護で働きたくても躊躇している「地域に眠る労働力」を掘り起こし、デジタルで時間と場所の制約を受けずに働ける仕組みを導入し、誰もが活躍できる魅力的な働く場と働き方を叶える環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人手不足の状況下にある市内事業所の事業を継続・発展させるため市内事業者のDX推進とデジタル人材の育成を行うことで、業務の効率化、生産性向上を図る。また、市内事業所の継続的なDX推進のため、DXよろず相談所を設置することで取組を波及させる。 また、子育て・介護を行いながらも就業意欲がある方、多様な働き方で人材確保を行いたい事業所の双方にセミナー等を実施し、テレワークを活用した就労マッチングの仕組みを構築する。					出水市の課題 本プロジェクトの主な取組 目指す効果 人手不足による経済活動の低迷 ・市内事業所のDXによる業務効率化、生産性向上 ・地域の労働力の確保 ・働く人の満足度向上（楽しい職場） ・市内学校への進学者確保 ・デジタル・新技術の企業やスタートアップの進出など ⇒本市経済活動が活性化	
	【R8年度事業 経費内訳】 事業①市内事業所等のDX推進とデジタル人材の育成 R8事業費 5,100千円 事業②誰もが活躍できる働く場・働き方の環境整備 R8事業費 2,524千円 事業③本市産業を支えるデジタル人材の育成と、企業・人材の進出・還流を促す情報発信 R8事業費 1,284千円						
主なKPI	①市内生産額（+4億円） ②DX推進に取り組む事業所等数（+30事業所） ③テレワーク研修受講者数（+15名） ④特設ページの閲覧数（+550ページビュー）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公開予定 https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/page/page_013118.html

事業概要：外国人材とともに創る出水市産業成長プロジェクト

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,253,239千円 (202,789千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 市内企業における人材・人手不足を解消するため、外国人が地域の構成員として共生できる社会を形成するとともに、市内企業における外国人材活用の更なる促進・支援することで、外国人材を安定的に確保・育成し、地場産業の操業率向上や付加価値創出の強化につなげる。 ・ 平和工業団地から出水 I C間の道路整備を行うことで本市経済の要所を繋ぎモノ・ヒトの流れを活性化することで、今後の経済発展に耐えうる基盤を整える。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 平和工業団地では近年、工場の集積や増設が進んでおり、さらに、今後高速道路交通網の供用が予定されていることから経済活動がますます活性化することが予想される。 本事業では、本工業団地と最寄りの I Cである出水 I Cを繋ぐ道路整備を行い、地域経済活性化の基盤を整え波及効果を最大化することで時期を逸さない経済発展の礎をつくる。本工業団地を含む市内の工業団地では、慢性的な人材・人手不足が課題であり、今後の経済発展により更なる人材確保が必要となってくる。現在も多くの外国人材が本市で就労しているが、更なる外国人材の活用を進めるため、外国人材確保・育成等の情報交換を行う連絡会の組織、就労を含む外国人による生活相談窓口の役割を果たす多文化共生センターの整備等を行い、市内総生産の増加を図り市内経済全体の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・外国人材支援連絡会設置、多文化共生イベント等実施 2,789千円 ○拠点整備事業 ・多文化共生センター整備（既存建築物の模様替え） ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 200,000千円						
主なKPI	①市内総生産（+300億円） ②外国人材の受入れ人数（+600人） ③外国人材の定着率（+18%） ④道路整備による創出時間を活用した地域経済効果（+10億円） ⑤整備区域内の市民や外国人居住者が安全に回遊できる歩道整備率（+98%）					URL	令和8年7月公開予定 https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/page/page_013118.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	鹿児島県指宿市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	153,135千円 (51,545千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・客観的なデータ分析に基づき、関係団体で情報を共有しながら、成果の出る観光施策を継続的に展開できる体制の構築を目指す。 ・「滞在価値向上」「交流人口拡大」「データマーケティング」を連携させ、事業者の生産性を高めることで自立した企業経営を促進する。 ・観光関連産業の稼ぐ力を強化し、地域経済を活性化することで、将来にわたって活力ある持続可能な観光地域づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 【滞在価値向上プロジェクト】 指宿港海岸整備等の環境整備を機に質の高いガイド人材の確保・育成や観光体験の予約プラットフォームの構築、観光体験と掛け合わせた宿泊プラン造成等により、観光客の利便性と滞在価値を向上させる。 【交流人口拡大】 インバウンドの市場開拓、スポーツ合宿の誘致体制整備、および二次交通対策等を推進し、新たな客層の獲得と閑散期の需要創出を図る。 【データマーケティングの活用】 データのダッシュボード化と収集体制を構築し、専門人材による客観的な分析を通じて、各事業のPDCAサイクルを確立し施策を継続的に改善する。					<pre>graph TD; A[滞在価値向上プロジェクト 観光の質を高め、滞在価値を創出する] --> B[データマーケティング 戦略の立案・裏付け]; B --> C[観光交流人口拡大 市場開拓とアクセス改善で 交流人口拡大]; C --> D[滞在価値向上 × 交流人口拡大 × データマーケティングで創る 持続可能な観光地域づくり]; D --> A; B <--> C</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・滞在価値向上プロジェクト（負担金）15,250千円 -ガイド後継者支援、観光体験の予約システム構築、宿泊プラン造成 等 ・市場開拓とアクセス改善による観光交流人口の拡大（負担金）23,450千円 -インバウンド誘致商品造成支援、合宿誘致に向けた体制整備 等 ・データマーケティングによる戦略的観光施策の推進（負担金）12,845千円 -客観的データのダッシュボード化、マーケティング人材育成 等						
主なKPI	①観光消費額（+90億円） ②来訪者満足度調査5段階評価中「5」の割合（+19.62%） ③体験を伴う宿泊プランの新規件数（+11件） ④インバウンド宿泊者数（+18千人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	指宿市ホームページ https://www.city.ibusuki.lg.jp/main/shisei/keikaku/keikaku/page018168.html CRM「いぶすきさんぽ」ホームページ https://www.ibusuki.or.jp/info/sanpo/

事業概要：「サーキュラー都市・薩摩川内市」実現プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県薩摩川内市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	102,780千円 (34,260千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	資源循環に関する独自の研修プログラムを構築することで、市内のサーキュラーエコノミー関連の動静脈産業への市内学校新卒者の就職やUIターン人材の確保、将来的な人口流出の流れの緩和・抑制に繋げる。 本市の資源循環の取組を通じたブランド価値の向上を図り、若年層等の移定住や県外の本市出身者等のUIターンの増加、交流人口や関係人口の増加、投資の呼び込み等に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・サーキュラーエコノミーの推進・実装に向けて、サーキュラーエコノミーに関する取組の裾野を広げるために体験型・参加型の研修プログラムを実施し、自ら考えて行動する人材（キーパーソン）を育成する。 ・サーキュラーパーク九州構想の独自性や希少性に加え、本市の強みや特徴である地域連携の体制とその連携の仕組みを活かした市民参画の取組、川内港臨海ゾーンの地理的優位性等の「ブランド価値」を国内外に効果的に発信するためのコンテンツ（主体・ツール・コンテンツ）の発掘・製作・活用等を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○次世代サーキュラー人材育成プログラム構築事業 ・研修プログラム構築経費（委託料）7,260千円 ○サーキュラー都市ブランディングプロジェクト ・ブランディング実施経費（委託料）27,000千円						
主なKPI	①市内の立地企業における新規雇用者数（+30人） ②住民基本台帳人口における社会増減数（+57人） ③市内学校新卒者の市内企業就職率（+4.1%Pt） ④関連分野の実証事業の実施数（+18件） ⑤関連事業の操業件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.satsumasendai.lg.jp/gyoseijoho/sogokeikaku/2/20250319/19907.html

事業概要：クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

継続

申請者	鹿児島県日置市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	37,685千円 (11,275千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 地域マーケティング力の向上と地域の魅力向上による年間を通じた賑わい創出を図る - 後継者確保策の確立による伝統工芸の継承を図る - 観光客・事業者・住民の満足度を高める観光まちづくり整備を図る - 文化的交流から産業的交流への転換による経済の活性化を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客の行動動態等のデータを継続して取得し、事業者へのデータ利活用支援や販売力強化に向けた商品開発等の支援を実施するとともに、伝統工芸の後継者確保に向けて、産地PRや窯業系学生と窯元との対話の機会を創出する。また、既存観光施設の方向性を確定し、新たな観光拠点整備に向けた事業計画の検討と中間支援組織の設立支援等を行うほか、国際交流においては、特産品等の交流販売を試行する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・データ利活用支援（委託費） 2,299千円 ・誘客促進支援及び販売力強化支援（委託費） 5,256千円 ・後継者育成確保策の試行に向けたヒアリング調査（委託費） 1,982千円 ・観光まちづくり整備計画策定及び中間支援組織の設立支援等（委託費） 898千円 ・受入環境の調整、特産品等の交流販売の試行（委託費） 840千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+6人） ②美山地区の観光入込客数（+16,050人） ③美山地区内の店舗におけるGoogleビジネスプロフィールのオーナー登録数（+20件） ④後継者育成プログラム修了者数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hioki.kagoshima.jp/kikaku/shisejoho/shisaku/chihoso/se/sogosenryaku.html

事業概要：いちき串木野ローカルイノベーター育成事業

継続

申請者	鹿児島県いちき串木野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	偏った就業構造を背景とする職業選択の少なさを解消するため、創業や新たなプロジェクトへの取り組みなどローカルイノベーターとして新たなキャリアパスを描くことができることを示し、若者の転出抑制と新たな人の流れの創出を図る。 人口減少や少子高齢化を起因とする課題や将来の持続可能な発展を見据えた取り組みを促進し、持続可能で魅力ある地域社会の創出を図るため、複雑多様化する課題解決に取り組む人材（ローカルイノベーター）を育成する。 若者のUターン促進には人間関係の構築も重要であることから、中間支援組織の機能も併せ持つ若者のコミュニティを形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ローカルイノベーター育成塾の開催。 全国のローカルイノベーターの事例やデジタルマーケティング、プロジェクト管理といった知識やスキルの座学を開催し塾生のスキルアップを図りつつ、塾生同士やUターン希望者や関係人口等が交流できるようデジタルツールを活用しコミュニティの形成を図る。 ローカルイノベーター育成塾の事業PR HPやSNSによる発信や広告を継続していく。					実施内容 ◆地域課題を解決できる能力の取得 ・地域課題解決能力を習得できる座学やフィールドワーク等のプログラム ・専用WEBサイトの設置 ◆フォローアップ体制の構築 ・卒業生、ベンチャー創業者によるメンター制度 ・日常的に相談できる場の常設（既存施設を活用） ◆多様な主体によるコミュニティ形成 ・塾生、塾の卒業生、講師、実施主体、移住希望者、関係人口など多様な主体の参画 ・リアルとデジタル(LINE,SLACK)の交流による仲間、絆の形成促進 ・相互支援による創業やプロジェクトの誘発促進 効果 ●活躍する人材の育成 ・持続可能な社会の形成に取り組む人材の育成 ・参加者の成長促進 ・シビックプライドの醸成 ●まちの魅力づくり ・創業や新たなサービスによる働く場や雇用の創出 ・活躍する若者の増加 ●移住定住促進 ・職業の選択肢が増えることによる転出抑制 ・まちの魅力増進による関係人口や移住者の創出 ・コミュニティは中間支援組織としての機能 若者が、ローカルイノベーターとして、地方における新たなキャリアパスを描けるよう支援体制を構築することで、転出抑制と新たな人の流れの創出の実現を図る。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・塾開催経費 ①講座開催経費（プログラム、フィールドワーク等開催、講師謝金、記録等）6,766千円 ②コミュニティフォローアップ経費 814千円 ③事前説明会開催費110千円 ・事業PR経費 ①HP更新・運営費 671千円 ②SNS等広告費 539千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①育成塾を通して生まれた移住者数（+3人） ②育成塾を通して生まれた関係人口数（+70人） ③育成塾を通して創業した人数（+9人） ④育成塾から生まれたプロジェクト数（+15件） ⑤育成塾の応募者増加数（+40人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku1/shise/2th_senryaku/2th_senryaku.html

事業概要：長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備事業

継続

申請者	鹿児島県いちき串木野市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	699,589千円 (202,858千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	若者・女性がより暮らしやすいまちと思えるよう、長崎鼻公園のリニューアルを行い、市民の暮らしの満足度向上を図り、定住意向の向上・転出意向の抑制を目指す。 地域外からの利用者を増やし、関係人口の創出と地域外住民の転入意向向上を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 長崎鼻公園が子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、憩いの場となるよう、「長崎鼻公園誘客交流拠点施設（仮称）」を核に、エリア一帯をリニューアルする。 また、産官学金労言の多様な属性を持つ地域住民が主体として参画する「エリアマネジメント協議会」を組成し、長崎鼻公園誘客交流拠点施設（仮称）を軸とした賑わい創出に、地域住民が主体的に楽しい地域づくりを行う仕組みを構築する。					【外観イメージ】 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 建築物本体工事（拠点施設整備） 91,553千円 外構工事 90,585千円 備品整備 17,574千円 サイネージを使用した入館システム構築 3,146千円					【内観イメージ】 		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市外からの転入者数（+82人） ②市内からの転出者数（▲48人） ③市内在住者の長崎鼻公園利用者数（+56,035人） ④市外からの長崎鼻公園利用者数（+24,015人） ⑤市外からの長崎鼻公園利用者のリピート者数（+7,204人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku1/shise/2th_senryaku/2th_senryaku.html

事業概要：多世代交流拠点施設整備事業

申請者	鹿児島県志布志市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	795,630千円 (113,252千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・商店街内の空きビルに、季節や天候に左右されず利用できる子ども向け屋内遊び場、コワーキングスペース等の機能をもった本市に今までなかった「多世代交流拠点施設」を整備し、多世代・企業等の交流を生むことで、まちの魅力を高め、交流人口を増やし本市への人の流れを作る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 商店街内の空きビルに、多世代交流拠点施設及び駐車場を整備するものである。 多世代交流ができる施設として、屋内外の子どもの遊び場、相談室、会議室、コワーキングスペース、カフェスペース等を整備し、子育て世代を中心に多様な世代が交わり、子育て支援エリア（1階、2階）と交流の拠点エリア（3階、4階）を構築し、新たな交流が生まれる地方創生の拠点施設を整備する。						
	【拠点整備事業】 ・施設整備 駐車場歩道舗装等整備 22,000千円 外遊び用サンシェード整備等 18,924千円 ・備品整備等 37,721千円 利用者の利便性の向上や、デジタル関係の学びと体験の場を提供し、デジタル人材育成や人材確保を図るための、施設運営に係るデジタル環境を整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+77人） ②交流人口数（敷地全体利用者数）（+19,000人） ③施設入館者数（+16,250人） ④子どもの遊び場への入館者数（+9,500人） ⑤イベント開催数（+14回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：港湾×関係人口×教育・人材による志布志地方創生プロジェクト事業

新規

申請者	鹿児島県志布志市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,000千円 (41,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「港湾」「関係人口」「教育・人材」の3つを軸に、つなぐ・育てる・見せる・回すといったキーワードのもと、港湾を核とした、多様な人材が循環する志布志モデルの確立を目指す。 ・港湾のポテンシャルを地域経済・関係人口の拡大に波及させ、志布志港の更なる発展と、地域内の人材育成と掘り起こし、外部人材等の力も活用しながら、本市への人の流れを促進し、地域内外からの関係人口を拡大させる。 ・港湾を中心とした産業構造の強化を図り、将来的には農林水産物・食品等の輸出を通じた海外展開や、商品開発を通じた地域経済の活性化等を目指していく						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の実態調査を行いながら、3年間かけて地域人材育成事業を行い、地域の核となる人材を複数育成する。 ・志布志港が持つ物流・産業基盤としての強みを整理し、そのポテンシャルを地域経済へ波及させ、港湾を地域の産業振興・交流人口拡大の中核として活用するための施策案を検討し、港湾と地域のつながりを強化する。 ・地域の若者と外部人材をつなぐ交流・循環の仕組みを構築し、若者が将来的に志布志市へ戻る・関わり続ける意欲を育てる。更には、多様な人材が本市で関わる機会を増やすことで関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・志布志の住民意識等調査や経済産業調査の実施や転出した人の追跡調査などの実施により流出原因を明確に洗い出すなど、本市の今後の継続発展のための基礎作りを行う。 ・地域と学びをつなぐ育成プロジェクト（委託料）13,000千円 ・物流・産業基盤としての成長プロジェクト（委託料）13,000千円 ・地域資源の発信と関係人口拡大の場の創出プロジェクト（委託料）15,000千円						
主なKPI	①若年層年間のUIターン数 （+ 5人） ②事業を通じた関係人口数 （+ 210人） ③事業を通じた地域内の若年層の関係人口数 （+ 123人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月公表予定

新規

申請者	鹿児島県志布志市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	250,000千円 (60,000千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		
目的・効果	観光案内、商業、公園遊具等複数の機能を有する拠点を新設し、港とまちを結ぶゲートウェイである大浜緑地公園に立ち寄り、観光情報が取得できると共に商業施設を利用の上、公園でくつろぐことが可能となり、また、港、駅、公園、商店街の4つのエリアの交点である本地区を中心・基軸（ハブ効果）に経済効果やにぎわいが波及・展開することが期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 かつての薩摩藩の貿易拠点であった歴史的価値、志布志港が国内重要港湾に指定されている現在の経済的な価値、観光フェリーの離発着と鉄道に面した交通的な価値、まちなかの商業的価値、これら4つの非常に大きな地域の価値を活かした、港とまちを結ぶゲートウェイである大浜緑地公園に観光案内、商業、公園遊具等の機能を有する拠点施設を整備し、港、駅、公園、商店街の回遊性向上、滞在時間延長による経済効果、にぎわい創出に寄与する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 大浜緑地公園に拠点施設（観光商業複合拠点施設）、公園遊具（インクルーシブ複合遊具、健康遊具）等を整備 ・拠点施設整備実施設計 15,000千円 ・公園遊具整備 45,000千円						
主なKPI	①交流人口（+182千人） ②観光消費額（+9.2億円） ③拠点商業施設売上高（+1,800万円） ④イベント来場者数（+30千人） ⑤イベント開催数（+70回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月公表予定

事業概要：知覧武家屋敷寺師邸を核とした稼ぐ観光拠点整備事業

継続

申請者	鹿児島県南九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	216,196千円 (180,223千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・国内外から観光客が訪れている「知覧武家屋敷地区」に宿泊施設、飲食・買物・体験等ができる新規店舗を整備することにより、観光消費額の拡大、観光客入込数の増加、雇用の創出など地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 知覧武家屋敷内に、朝食提供、特産品である「知覧茶」をメインとした飲食、買物、体験提供ができるスペース、スタッフ事務スペースを持つ店舗の新築を行う。メイン食材には市町村単位で日本一の生産量である「知覧茶」を使用し、「朝から営業している知覧茶カフェ」として特色ある運営を行うこととする。併せて、駐車場、店舗エントランス、歩道等の外構等整備を行う。 また、宿泊施設や飲食等新規店舗で放映する周辺観光地を紹介する動画、配布用のリーフレット制作を行う。今回整備する拠点施設周辺には、歴史文化施設や自然景観を楽しむエリア等が点在することから、施設利用者に情報を提供して周辺観光地への誘導を図り、地域での滞在時間延長や消費拡大を通して事業整備効果を地域全体へ波及させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・飲食等新規店舗 101,854千円 ・敷地外構整備工事 70,062千円 ・PRツール制作事業（委託料） 9,916千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市を訪問する観光客の観光消費額単価（+2,500円） ②宿泊施設の売上額（+472万円） ③飲食等新規店舗の売上額（+1,998万円） ④知覧武家屋敷庭園の有料庭園入込数（+2,200人） ⑤新規雇用者数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamikyushu.lg.jp/soshikikarasagasu/kikaku/kikaku/7/11525.html

事業概要：挑戦と応援が循環する地域イノベーション創出事業

新規

申請者	鹿児島県南九州市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	36,000千円 (14,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「地域の意識醸成と担い手創出」と「外部人材・関係人口の流れをつくる」を両輪とし、行政が起点となって官民共創の仕組みを構築することで、限られた人的・財政的資源を有効活用しながら、シビックプライドを高め地域変革を起こすアクションを促し、官民の相乗作用によるイノベーションが連鎖するまちを目指す。 本事業では、地域資源（地元の技術・人材・自然資源）を活用し、地域経済の強化を図る。地域内での産業間連携や地場産業の強化を進めることで、地域経済が外部経済の影響を受けにくく、安定した収益源を確保できる体制を築くことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、地域変革を担う人材と事業の育成を目指し、以下の4つのプログラムを実施する。行政が主導し、官民共創で地域課題に対応するためのEBPM（証拠に基づく政策立案）、地域の担い手発掘、関係人口創出、民間投資促進を進める。具体的には、地域経済の強化、地域資源の活用、社会的安全の確保を目指し、地域全体で持続可能な発展を促進する。モデルプロジェクトとして、地域産業支援や地域ケア構築、文化観光エコシステム構築などを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・【Be LEAD】官民共創でのエビデンスに基づく政策立案・検証（EBPM）の実装プログラム（委託料）3,500千円 ・【Be ACT】地域の担い手を発掘・養成する環境及び体制の構築プログラム（委託料）3,500千円 ・【Be LINK】企業人材及び移住に繋げる関係人口の創出プログラム（委託料）4,000千円 ・【Be SHARE】チャレンジやイノベーションのための民間投資の枠組みの構築プログラム（委託料）3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用の創出（本事業を通して生まれた新たな雇用）（+80人） ②地域の担い手となる人材の創出（市内からの本事業への参加者）（+450人） ③関係人口の拡大（域外からの本事業への参加者）（+1,800人） ④民間投資の増加（本事業を通じて生まれた投資・出資を行う個人・事業者）（+4,800千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamikyushu.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/kikaku/7/11525.html

事業概要：アドベンチャーパーク森のかわなベユニバーサルツーリズム拠点整備事業

新規

申請者	鹿児島県南九州市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	489,059千円 (69,835千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	アクティビティや宿泊施設を備えた新たな観光拠点整備により、滞在時間の延長と消費額拡大につなげる。特産品等地域の特色を活かした機能も取り入れ、地域産業の活性化を促す。ユニバーサルツーリズムを取り入れた整備により、交流人口の増加と魅力あるまちづくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 アクティビティ施設「アドベンチャーパーク森のかわなべ」及び周辺施設を、滞在時間の延長や消費額の拡大、新たな交流人口を増加させ、市内全体の産業を活性化させる観光拠点とするため、新たにユニバーサルツーリズムも取り入れたアクティビティや、特産品を活かしたメニューを提供するカフェ機能をもつ新たな管理棟の建設、キャンプのハードルを下げより高単価なインスタントハウスによる新たな宿泊機能の拡張と動線を確保しより一体的な利用を促すため、周辺に散策道を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 既存施設にユニバーサルコースを設置 ・新コース整備 55,000千円 新管理棟の設計（新築） ・設計費 6,880千円 新厩舎の設計（新築） ・設計費 8,643千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市を訪問する観光客の観光消費額単価（+5,000円） ②アドベンチャーパーク森のかわなべ及び周辺施設の売上額（+537万円） ③新規体験プログラムの提供数（+14件） ④新規施設の広告宣伝数（+13件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamikyushu.lg.jp/soshikikarasagasu/kikaku/kikaku/7/11525.html

事業概要：eスポーツ等地域活性化交付金事業

継続

申請者	鹿児島県始良市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,000千円 (13,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多世代参加型のeスポーツフェスの開催を通して多くの人がeスポーツの魅力に触れ、楽しむことで関係人口・交流人口の増加を図り、地域の活性化を推進する。 高齢者等の社会とのつながり・生きがいを目的としたデジタル・コンテンツ講座を開催し、デジタル・ディバイド解消を図る。 高齢者等を支援する側に対してサポーター養成講座を開催する。 デジタルに精通した専門家による講演会や若年層を対象にしたプログラミング体験会を開催し、若年層やその保護者等に対する認知度を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代参加型のeスポーツフェスの開催を通して多くの人がeスポーツの魅力に触れ、楽しむことで関係人口・交流人口の増加を図り、地域の活性化を推進する。 また、年齢や障害の有無を問わず競えるUDe-スポーツの機器を活用し、福祉従事者向けのサポーター養成講座や施設内での効果検証、その他さまざまなイベントでの体験会等を実施する。ボタンのみを使用するという操作の簡略化により、eスポーツに対する抵抗感をなくし、高齢者を中心としたデジタル・ディバイドの解消やフレイル予防、認知症対策を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業経費 ○あいらeスポーツフェス企画運営事業 ・(委託料) 11,000千円 ○始良市デジタル・コンテンツ活用事業 ・(委託料) 2,000千円						
主なKPI	①地域の転入者数 (+10人) ②講座等を開催したサロン・事業所数 (+3件) ③イベント等の参加者数 (+4,500人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年4月上旬公表予定 https://www.city.aira.lg.jp/kikaku/gyosei/sesaku/

事業概要：さつま町創生GDXセンター事業

継続

申請者	鹿児島県さつま町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,225千円 (68,867千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	女性のデジタル人材の育成や就業支援、地域企業のDX推進、公民館・公民会（自治会）のデジタル化を柱に民間企業、大学等と連携しながら、持続可能な地域社会の構築を目指す。 最新のデジタル技術と地域の人材力を融合させることで、若者から高齢者まで誰もが「住み続けたいまちさつま町」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 さつま町創生GDXセンターと「産学官金」の連携による未来創造 1 女性が活躍できるまちづくり デジタル人材育成を行い、BPO業務の実践や在宅ワーク支援を通じて、地域での就業・起業機会を創出。 2 未来をつくるソリューション 中小企業等の経営相談やデジタルマーケティング導入などの伴走支援を行い、生産性向上を図る。 3 公民館・公民会（自治会）のDX推進 地域アプリによる自治会運営の効率化やデジタルデバйд対策の実施。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・センター運営経費、プロジェクト進行管理 15,200千円 ・女性が活躍できるまちづくり事業 29,309千円 ・未来をつくるソリューション事業 13,427千円 ・公民館・公民会（自治会）DX推進事業（一財） ・GDXセンター整備 10,931千円						
主なKPI	①女性の新規就業者数（+60名） ②女性デジタル人材の育成（+60名） ③女性デジタル人材育成プログラム累計参加者（+300名） ④GDXサポート中小企業社数（+30社） ⑤自治会）アプリ活用（+40自治会）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	R8.9公表予定 https://www. satsuma-gdx.or.jp

事業概要：サンセットの丘周辺観光地整備事業

継続

申請者	鹿児島県長島町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	680,058千円 (64,375千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	鹿児島県長島町は、自然豊かな環境と美しい海岸線を有し、観光資源が豊富であるものの、近年は人口減少や地域経済の停滞が課題となっている。特に、観光客数は年々減少傾向にあり、地域活性化には新たな観光拠点の整備が急務であると考えている。本事業では、観光拠点である「サンセットの丘」や周辺に点在している拠点施設を一体的にリニューアルを行い、多様な観光体験を提供することで、本町がスローガンとして掲げている「渡りたくなる島」を実現し、訪れる人々を増加させることで地域経済の活性化を目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、「サンセットの丘」を中心とし、その周辺に点在している「道の駅長島」「温泉センター椿の湯」等の拠点施設を一体的にリニューアル工事を行い、エリアにおける回遊性の向上や滞在時間の増加、観光客の増加を図り、停滞している地域経済の活性化を目指すものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 迂回配電による電柱移設 L=510m (52,275千円) 電柱を建物の後ろ側に配置し、景観に配慮した整備計画とする。 道の駅長島電柱引込 (12,100千円) 地中埋設による電柱引込を実施景観に配慮した整備計画とする。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町の観光消費額 (+3,000千円) ②サンセットの丘の来場者数 (+3,000人) ③椿の湯の来場者数 (+1,200人) ④道の駅長島の来場者数 (+1,200人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月以降公表予定

事業概要：「やわらかな定住」を核とした関係人口創出・二地域居住推進事業

新規

申請者	鹿児島県錦江町ほか 17 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	872,423千円 (297,350千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 全国の連携自治体が広域に連携することで、未就学児から小学生までの子育て家族に対して地域を越えた柔らかな定住（二地域居住の子育て暮らし）の機会と新たな人の流れを創出し、定住人口のみに依存しない地域経済モデルを確立する。都市部の子育て家族が、多様な地域環境での滞在を通じて「複眼的な視点」や「第二の故郷としての愛着」を深め、継続的な関係人口・ふるさと住民となることで、人口減少下においても地域での幼少期からの関係人口づくりが将来にわたって維持される持続可能な地域社会を実現する。 「豊かな自然環境」や「少人数教育」といった非貨幣的な資産を、都市部ニーズの高い「二地域居住プログラム（教育留学・体験滞在）」という高付加価値な商品へと転換することで、地域の教育・暮らし環境そのものを「都市部に売れるサービス産業」として再定義し、新たな外貨獲得手段（地場産業）として育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 全国の連携自治体と共に「定住人口のみに依存しない新たな地域運営モデル「やわらかな定住(二地域居住)」を社会実装する。 「住環境の物理的不足」と「継続的な関係性管理（DX）の不在」という構造的課題を解消するため、「二地域居住コンテンツ」の創出や「ハード（住まい）・デジタル（システム）・ソフト（組織）」の三位一体で持続可能な受入基盤を整備する。					①二地域居住の魅力化 子育て暮らし体験と地域資源の価値創出 移住をやわらかにこどもの年齢に合わせて1ー3週間からの二地域居住 保育園留学&小学生留学 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 区分1 二地域居住の魅力化：子育て暮らし体験と地域資源の価値創出 ①子育て家族への二地域居住モデルの実証・展開 146,960千円 ②地域の食文化を核としたツーリズムおよび商品開発 9,000千円 区分2 やわらかな定住の構築：暮らし環境・デジタル・組織 ③二地域居住拠点の整備と機能設計 52,510千円 ④循環型関係人口DXシステムの構築（デジタル）9,860千円 ⑤受入推進体制の構築と人材育成（ソフト・組織）26,970千円 区分3 子育て二地域居住の機運作り：情報発信と広域連携 ⑥戦略的プロモーションと情報発信 48,750千円 ⑦やわらかな定住のブランド共同発信 3,300千円					②やわらかな定住の構築 暮らし環境・デジタル・組織 住まいをやわらかに持ち家購入ではなく まずは二地域居住体験の住まいから 	
主なKPI	①二地域居住の関係人口の創出数（+1,533人） ②地域滞在総量の拡大（+12,894泊） ③本事業による地域経済波及効果（+255,360千円）					URL	調整中
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

※北海道小清水町・月形町・鹿追町・中富良野町、岩手県西和賀町、東京都青梅市、京都府和束町・笠置町、兵庫県宍粟市、広島県庄原市、大分県臼杵市、長崎県東彼杵町、熊本県天草市・芦北町、宮崎県日向市、鹿児島県志布志市・与論町の広域連携事業

事業概要：自然資本データ活用による産業創出事業

申請者	鹿児島県錦江町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,000千円 (50,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地場産業支援関連事業
目的・効果	・熟練技術や自然環境データをA Iで収集・蓄積する基盤を構築し、属人的な知見に依存する産業構造からの脱却を図る。 ・A Iを活用した経営相談機能を実装し、生産性向上と高付加価値化を通じて、基幹となる第一次産業の「稼ぐ力」を最大化する。 ・データを利活用した創業支援で新たなビジネスと雇用を創出し、若者が定着する持続可能な自立型地域経済を確立する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 錦江町の基幹である第一次産業は、熟練者の属人的な知見に依存しており、担い手不足と収益性低迷が課題である。本事業では、地域固有の自然環境データや熟練技術の暗黙知をA Iで解析・蓄積するデータ基盤「Local Challenge Platform」を構築する。本基盤を核に、既存事業者にはA Iを活用した経営相談による高付加価値化を促すとともに、町内外から起業家を募る産業創出支援プログラムを実施する。データに基づく新たな「自然資本産業」と雇用を創出し、人口減少下でも持続可能な自立した地域経済モデルを確立する。					第一次産業の技術／行政事業の内容・成果／地域固有の文化・空間データ	
	【ソフト事業】 ・データプラットフォーム構築（委託料）35,000千円 ・自然資本産業創出支援（委託料）15,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規の自然資本産業創出数（+10件） ②新規の自然資本産業従事者数（+37人） ③農業経営体あたりの農業産出額（+6,400千円） ④データ活用による自然資本産業事業計画数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月公表予定

事業概要：龍郷町多世代交流センター整備事業

継続

申請者	鹿児島県龍郷町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,300,820千円 (754,700千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 新たな地域資源の「温泉源を」活用した施設整備でまちのにぎわいを創出し、人口減を抑制する。 - 圏域初の「屋内遊戯場」を整備するほか、子育て支援員等による相談・情報提供、併設するファミリーサポートセンターを通して子育て世代の妊娠・出産・育児支援の充実を図り、出生数増に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 人の流れを生み出す新たな地域資源として温泉源を活用し、老朽化が進む既存施設を「多世代交流センター」として再整備する。1階は温泉施設のほか、地域住民同士が集まって様々なイベントやワークショップを開催できる多目的スペースを設置する。2階は屋内遊戯場を整備することで、親子間の触れ合いの機会を創出するほか、子育て支援員を配置し子育てに関する相談・情報提供を行い妊娠期、子育て世代を支援する。						
	【拠点整備事業】 ・建築工事費 施設増改築 337,200千円 ・設備整備 温泉掘削 370,000千円 ・設備整備 屋内遊戯場 32,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+81.70人）※いずれも2031（令和13）年目標 ②出生数（+1人） ③拠点施設利用者数（+52,300人） ④町外の温泉利用者数（+9,446人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tatsugo.lg.jp/hokenfukushi/chose/machinoshisetsu/idx-doukusaaya.html （公開前）

事業概要：アマギのタカラモノを再発見！タウンプロモーション推進プロジェクト

新規

申請者	鹿児島県天城町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,710千円 (23,710千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・天城町の魅力をメディアや広告媒体を活用し全国へ発信することで、町の認知度を向上させる。天城町に「行きたい、食べたい、買いたい、体験したい、チャレンジしたい」と感じてもらえる人を増やす。プロモーションを入口として、来訪者には町の魅力を知ってもらい関係人口・交流人口の創出につなげ、町民には町の魅力の再発見のきっかけの創出につなげる。天城町ファンを増やし、地場産業の付加価値向上や販路開拓を通じて地域経済の維持・拡大に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 天城町を広く認知・興味を持ってもらうための情報発信と、観光に関心の高い層に対して来訪意欲を喚起する情報発信の二層に分けて取り組む。 移動距離や費用面でのハードルが高い離島であるからこそ、認知の拡大と来訪意欲の喚起を段階的に行う戦略的な情報発信を展開し、外部のクリエイターやメディアの視点を活用することで、町内では当たり前とされてきた風景や営みを「価値ある資源」として再定義する。町のPRを通して交流人口・関係人口・UIターンの促進に寄与する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・町の認知度向上を目的とし、本町の様子が視覚的に分かり、行ってみたいと思ってもらえるように関東圏で放映されるテレビ番組も制作・放送する。 (委託) 19,800千円 ・旅行を検討する段階で情報収集を行う層に向け、動画及び冊子を作成する。 (委託) 3,685千円 ・天城町”という町のイメージがPR出来るようなグッズを製作する。 (委託) 225千円						
主なKPI	①天城町へ移住した人数（R3年度以降、移住相談窓口を活用した数の累計値）（+69人） ②自然と伝統文化体験館への来館者数（+39,300人） ③SNS登録者数（+1,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	鹿児島県伊仙町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	95,000千円 (32,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「地域公社」を中心に住民の日常生活に不可欠なサービス（買物、福祉、交通）の持続的な提供を目指す。 地域の様々な課題解決に向けた取り組みの中核的な役割を担う「地域公社」を設立する。 課題解決に向けて域内外の多様なプレイヤーを「地域公社」でつなぎ効果的な取り組みを進める。 「地域公社」を牽引役として「地域の稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域公社の設立に向けた具体的体制の構築と地域公社で担う具体的事業開始に向けた準備。 1年目に策定した「アクションプラン」を元に地域公社の設立及び、設立後に取り組むプレ事業の開始に向けた取り組みを進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「地域公社」設立に向けた具体的体制の構築 14,000千円 ・アクションプランをもとにした地域プレイヤーの確保 ・地域の事業者、生産者との連携強化 ・法人化に向けた法手続き等の準備、組織内における規定等の整備 ・専門人材の採用の検討（マーケティング・IT等） ○「地域公社」の具体的事業に向けた準備 18,000千円 ・アクションプランをもとにしたプレ事業の組み立てと準備 ・日常生活に不可欠なサービスに関する事業の準備 ・PR・販売チャネルの拡充、物流・配送等の流通面の最適化に向けた準備 ・地域ブランドの強化や新たな加工品・特産品開発に向けた準備 ・既存事業の試験的改善の実施（買物、福祉、交通等）						
主なKPI	①人口（社会増減数の改善）（+80人） ②地域公社事業としての売上金額（+1.8億円） ③公共施設（健康増進施設、直売所）・公共交通の利用客数（+50,000人） ④販路拡大につながった地域特産品の製造・販売者数（+10事業者） ⑤デジタルを活用した地域特産品の情報発信・商品数（+30商品） ⑥地域課題の解決に向けたステークホルダーとの協働プロジェクト数（+6プロジェクト）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.isen.kagoshima.jp/mirai/dai2sedaikoufukin.html （効果検証） 令和8年9月頃公表予定